

# 6/1 いのちを見つめる講話・生徒集会・表彰伝達

6月1日(木)は、佐世保市にとって特別な「いのちを見つめる日」です。そして、6月は「いのちを見つめる強調月間」です。本校においても、この期間は学校開放や道徳の公開授業などの取組を行います。その一環として、本日(6/1)の朝から校長先生による「いのちの講話」がありました。講話の中では、「いのちを見つめる日」や「いのちを見つめる強調月間」の意義が語られるとともに、2編の詩【出典：きっと明日はいい日になる 田口久人】が紹介されました。また、生徒集会と表彰伝達も同時に行われ、まさに「日宇中生徒の命の輝き」が感じられるひと時となりました。この取組をきっかけとして、「命を大切にすること」「周りの人を思いやること」等について考えを深めるとともに、自分の心を見つめ直してほしいと願っています。

## 【いのちの講話】



- 皆さんに事あるごとに「フォローシップの大切さ」について話をしていますが、それは、集団としてまとまること・一致団結することだけではありません。
- お互いに手を差し伸べ合って、一緒に生きていく中で、「人の痛みがわかる」「他者を思いやる」「人のために役立つ」とするなど、「心」を育ててほしいと願っているからです。

## 『生きる意味』

壁にぶつかったとき  
うまくいかないとき  
自信を失うこともある

そんな自分が嫌になり  
何のためにいきているのか  
わからなくなることもある

最初から生きる意味が  
わかっている人は少なく  
ほとんどの人がわかっていない

それでもいいから生きてみる  
生きることでもわかることもある

小さな幸せを見失わないこと  
まわりに流されないこと  
自分を信じること

まわりを思いやり  
大切な人を大切にすること

生きる意味がわからなくてもいい  
今を生きればいい

## 『救いの5か条』

苦手な人がいたら  
誰よりもたくさん  
いいところを見つけなさい

困っている人がいたら  
誰よりも早く  
手を差し伸べなさい

悩んでいる人がいたら  
誰よりも長く  
そばにいてあげなさい

自信がない人がいたら  
誰よりも信じて  
応援してあげなさい

そばに大切な人がいたら  
誰よりも多く  
感謝の気持ちを伝えなさい

あなたが動き出せば  
救われる人はたくさんいる

## 【生徒集会】



## 【表彰伝達】



## 【おまけ】

今年度に入り、生徒集会や先月実施された体育大会など、全校生徒で集合して活動する場面も増えてきました。4月当初は、コロナ禍の3年間満足に実施できなかったこともあり、集団行動がうまくできない場面もちらほら見られましたが、この2か月間で着実に集団を意識した行動がとれるようになってきています。今朝の集合の状況や話を聞く姿勢は、成長した日宇中生徒の姿を見ることができました。体育大会の成果が着実に表れていると、確信を持つことができた朝の集会活動でした。もっともっと成長していき、「佐世保一」の学校づくりは進んでいくと信じています。頑張ろう！日宇中学校！